



2023年2月24日

各 位

会 社 名 株式会社協和コンサルタンツ  
代表者名 代表取締役社長 山本 満  
(コード番号:9647 東証スタンダード)  
問合せ先 執行役員統括本部経営管理室長  
黒瀬 雅弘  
電 話 03-3376-3171

上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社は、2021年11月26日に、スタンダード市場の上場維持基準への適合に向けた計画を提出し、その内容について開示しております。2022年11月末時点における計画の進捗状況について、下記のとおり作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準への適合状況の推移及び計画期間

当社の2022年11月末時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況は、その推移を含め以下のとおりとなっており、流通株式時価総額については基準を充たしておりません。当社は、表1のとおり2024年11月末までに上場維持基準を充たすために、引き続き各種取り組みを進めてまいります。

【表1】当社の上場維持基準への適合状況

		株主数	流通株式数 (単位)	流通株式 時価総額 (円)	流通株式比率 (%)
当社の適合状況及びその推移	移行基準日(2021年6月30日)時点	475	2,403	762,156,203	41.0
	2022年11月末時点	452	2,345	852,095,164	40.0
上場維持基準		400	2,000	1,000,000,000	25.0
当初の計画に記載した計画期間				2024年11月末	

※当社の状況(移行基準日時点)は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出したものです。

## 2. 上場維持基準の適合に向けた取り組みの実施状況及び評価（2021年12月～2022年11月）

### 【流通株式時価総額】について

#### （1）取り組みの実施状況

当社主力事業の建設コンサルタント業界は、社会インフラの点検・補修・補強業務等の防災・減災・国土強靱化関連の需要を中心に、前期に引き続き安定した市場環境にありました。このような状況下、当社グループは、将来的に市場環境が変化した際にも現在の利益水準を維持・拡大できるよう、次の3点の施策を強力に推進し、「純資産」の積み増しによる「株価」の上昇を目指しました。

##### ① 受注量の確保

安定した市場環境の中でも次年度以降を見据えた受注量の確保を最優先として、営業部門と技術部門が連携した営業展開を行いました。この結果、2022年11月期の連結受注高は7,948百万円（前期比3.2%増）、主力事業の建設コンサルタント事業の受注高は6,256百万円（前期比2.1%増）となり、受注量の確保は順調に進みました。

##### ② ICTの積極活用と生産体制整備による生産性の向上

親会社において2022年11月期の期初より導入した各支社の技術部門を横断する生産体制が質・量の両面で効果的に機能し、また、グループ全体でICTを積極活用して生産性を高めたことや、グループ全体でコスト縮減に努めました。この結果、2022年11月期の親会社株主に帰属する当期純利益は324百万円となり、期初計画の270百万円を上回ることとなりました。

##### ③ 事業の安定継続に必要な次世代の人材育成

前述した各支社の技術部門を横断する生産体制を中心に、質・量の両面から効果的かつ効率的な技術者の人材育成に努めました。人材育成の効果は短期的に測れるものではございませんが、当社グループは着実に進んでいるものと考えております。

#### （2）取り組みに対する評価

流通株式時価総額が上場維持基準を充たすために必要な株価、および純資産の推移から算出される予想株価状況を表2、3に示します。

表3に示す2024年11月期の株価予想値は、表2の上場維持基準を充たすために必要な株価を上回っていることから、当社グループは、2021年11月26日提出したスタンダード市場の上場維持基準への適合に向けた計画に対する取り組みは順調に進捗しているものと判断しております。

【表2】流通株式時価総額が上場維持基準を充たすために必要な株価

(A) 上場維持基準	(B) 流通株式数 <sup>※1</sup>	(C)=(A)/(B) 必要株価
1,000百万円	234,512株	4,264.17円/株

※1：2022年11月末時点の流通株式数

【表3】2023年11月期と同等の利益水準が今後も継続したと仮定した場合の純資産の推移

	純資産 <sup>※2</sup>	一株純資産	(D)予想株価1 (PBR1.0)	(E)予想株価2 (PBR0.73) <sup>※4</sup>
2020年11月期実績	2,157百万円	3,687円	---	---
2021年11月期実績	2,396百万円	4,096円	---	---
2022年11月期実績	2,909百万円	4,974円	---	---
2023年11月期予想 <sup>※5</sup>	3,231百万円	5,524円 <sup>※3</sup>	<u>5,524円</u>	4,032円
2024年11月期予想	3,553百万円	6,075円 <sup>※3</sup>	6,075円	<u>4,434円</u>

※2：非支配株主持分を除いた額

※3：2022年11月期末の期中平均株数により算出

※4：当社の2022年11月期末以前3か月間の日々の最終株価の平均値（3,633.48円/株）から算出したPBR

※5：当社の2023年11月期通期業績見通しによる予想（2022年1月13日公表）

### 3. 上場維持基準に適合していない項目ごとのこれまでの状況を踏まえた今後の課題と取り組み内容

#### 【流通株式時価総額】について

##### (1) 今後の課題

当社グループの受注は、国や地方自治体に対する依存度が高く、公的予算の変化が当社グループの受注環境や業績に影響を与える可能性があります。このため、受注の維持・拡大を目指すだけでなく、将来的に受注環境が悪化した場合に備え、生産性向上およびコスト縮減等により利益率を向上させることが必要であると認識しております。

##### (2) 取り組み内容

取り組み内容に大きな変更はございませんが、引き続き、上場維持基準の適合に向けた取り組みで掲げた3点の施策に注力いたします。

##### (3) 当初の計画内容から変更した理由

現時点において、当初の計画内容から変更した事項はございません。

(注)本資料に記載されている業績目標等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在における仮定を前提としており、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる場合があります。

以 上